



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL <http://www.suzukinet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 勝登 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	11,456	△4.2	832	2.4	632	△7.3	294	48.4
28年6月期第2四半期	11,954	6.9	812	19.7	681	△13.5	198	△42.2

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 564百万円 (546.7%) 28年6月期第2四半期 87百万円 (△81.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	23.80	—
28年6月期第2四半期	16.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	18,811	12,443	65.1
28年6月期	18,250	12,285	65.0

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 12,251百万円 28年6月期 11,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,375	1.2	1,274	△11.3	1,200	△5.0	577	249.1	46.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成29年2月13日）公表いたしました「平成29年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期2Q	12,390,000株	28年6月期	12,390,000株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	4,368株	28年6月期	4,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期2Q	12,385,632株	28年6月期2Q	12,385,632株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、急速な円安の進行や海外経済の減速懸念が強まっており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては主力の部品セグメントで自動車電装向け部品が引き続き堅調に推移しました。また、民生向けのコネクタ用部品はスマートフォン向けの需要が前年同期との比較では強めの基調での推移となりました。

このような環境のなか、当社グループは現時点をモノづくりの変革期にあると捉え、金型づくりから始まる各事業が連携し、高品質、高付加価値製品の供給を通じて顧客満足度の向上を図るとともに、利益の向上、技術の向上を確実に達成できる企業を目指し、従来より取り組んできた各施策を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は114億5千6百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は8億3千2百万円（前年同期比2.4%増）、為替相場の変動により海外子会社への貸付金等から生じた為替差損2億1千6百万円等を営業外費用に計上したことなどにより経常利益は6億3千2百万円（前年同期比7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9千4百万円（前年同期比48.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け金型、自動車向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は高機能端末向けコネクタ用や車載コネクタ用の金型が中心となりました。自動車向け金型は量産用や開発用の金型が中心の受注内容となりました。

その結果、売上高は8億円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は1億9千3百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器関連はスマートフォンの新製品向けや車載向けコネクタ用などが中心となりました。自動車電装関連は市場好調を背景に堅調に推移しました。また、中国の連結子会社は商品構成の切り替えが徐々に進行しております。

その結果、売上高は91億円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は9億3千2百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

③機械器具

各種自動機、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機は車載関連装置や医療関連装置が中心となりました。医療器具は計画通りの推移となり、受注、売上ともに堅調な実績となりました。

その結果、売上高は15億5千万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は2億1千9百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。売上高は5百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は1千9百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は87億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千9百万円増加しました。これは主に現金及び預金が3億5千4百万円増加したことによるものであります。固定資産は101億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加しました。これは主に投資有価証券が評価替えにより2億9千3百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は47億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千2百万円増加しました。これは主に短期借入金が3億8千6百万円、買掛金が1億9千8百万円増加したことによるものであります。固定負債は16億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は124億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千7百万円増加しました。これは主に利益剰余金が1億5千8百万円、その他有価証券評価差額金が1億9千万円増加し、非支配株主持分が2億3千2百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.1%（前連結会計年度末は65.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億5千4百万円増加し、14億8千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、8億5千万円（前年同期比264.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億2千8百万円、減価償却費6億2千3百万円と資金が増加しましたが、法人税等の支払額4億5百万円と資金が減少したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7億3千5百万円（前年同期比3.8%増）となりました。これは主に、部品事業の生産設備増設及び更新のための有形固定資産の取得による支出6億9千4百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は7千5百万円（前年同期比82.1%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1億5千万円、短期借入金の純増加額4億6千9百万円により資金が増加しましたが、非支配株主への配当金の支払額2億7千万円、配当金の支払額1億3千5百万円、長期借入金の返済による支出1億3千7百万円と資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期通期の業績予想につきまして、平成28年8月10日に公表いたしました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「平成29年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,790	1,770,406
受取手形及び売掛金	4,592,817	4,674,456
商品及び製品	170,173	161,383
仕掛品	875,613	839,958
原材料及び貯蔵品	954,488	968,806
その他	333,139	286,643
流動資産合計	8,342,022	8,701,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,669,827	3,621,441
機械装置及び運搬具（純額）	3,035,261	2,972,970
土地	1,441,953	1,423,475
その他（純額）	313,359	400,706
有形固定資産合計	8,460,401	8,418,594
無形固定資産	49,681	63,636
投資その他の資産		
投資有価証券	1,195,951	1,489,785
その他	203,216	138,520
貸倒引当金	△936	△1,136
投資その他の資産合計	1,398,232	1,627,170
固定資産合計	9,908,314	10,109,400
資産合計	18,250,337	18,811,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066,566	2,265,144
短期借入金	845,120	1,231,583
1年内返済予定の長期借入金	270,228	300,780
未払法人税等	360,864	282,401
賞与引当金	95,076	104,202
役員賞与引当金	25,400	13,700
その他	623,459	521,387
流動負債合計	4,286,716	4,719,199
固定負債		
長期借入金	396,890	378,678
長期未払金	459,311	437,588
退職給付に係る負債	821,852	832,216
固定負債合計	1,678,053	1,648,482
負債合計	5,964,769	6,367,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,435,300	1,435,300
資本剰余金	1,439,733	1,439,733
利益剰余金	8,471,528	8,630,044
自己株式	△1,130	△1,130
株主資本合計	11,345,431	11,503,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	456,030	647,006
為替換算調整勘定	129,218	167,065
退職給付に係る調整累計額	△69,670	△66,644
その他の包括利益累計額合計	515,578	747,427
非支配株主持分	424,558	191,998
純資産合計	12,285,568	12,443,373
負債純資産合計	18,250,337	18,811,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	11,954,791	11,456,632
売上原価	10,354,462	9,741,531
売上総利益	1,600,329	1,715,101
販売費及び一般管理費	787,539	882,657
営業利益	812,789	832,443
営業外収益		
受取利息	8,665	4,102
受取配当金	15,350	16,595
受取賃貸料	4,380	2,954
スクラップ売却益	5,319	4,109
その他	8,745	3,789
営業外収益合計	42,462	31,550
営業外費用		
支払利息	12,476	13,397
為替差損	159,470	216,407
その他	1,474	1,939
営業外費用合計	173,421	231,744
経常利益	681,830	632,250
特別利益		
固定資産売却益	2,003	1,936
特別利益合計	2,003	1,936
特別損失		
固定資産売却損	211	2,162
固定資産除却損	1,267	3,243
関係会社株式評価損	55,222	—
特別損失合計	56,700	5,405
税金等調整前四半期純利益	627,133	628,781
法人税、住民税及び事業税	353,186	316,317
法人税等調整額	11,085	△7,569
法人税等合計	364,272	308,748
四半期純利益	262,861	320,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	64,197	25,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	198,663	294,758

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	262,861	320,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158,679	190,976
為替換算調整勘定	△18,932	50,491
退職給付に係る調整額	2,047	3,026
その他の包括利益合計	△175,563	244,494
四半期包括利益	87,297	564,527
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,417	526,607
非支配株主に係る四半期包括利益	58,880	37,919

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	627,133	628,781
減価償却費	607,789	623,054
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,674	9,884
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,584	△11,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30,108	14,925
受取利息及び受取配当金	△24,016	△20,697
支払利息	12,476	13,397
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,792	225
有形固定資産除却損	79	3,218
関係会社株式評価損	55,222	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△768,974	△98,476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△69,294	△8,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	240,602	211,356
その他	△115,944	△119,910
小計	581,478	1,245,421
利息及び配当金の受取額	43,228	21,901
利息の支払額	△11,693	△11,978
法人税等の支払額	△379,563	△405,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,450	850,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△529,418	△694,948
有形固定資産の売却による収入	8,266	7,728
投資有価証券の取得による支出	△18,401	△19,563
長期貸付けによる支出	△150,000	—
その他	△18,374	△28,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△707,928	△735,052
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	388,179	469,623
長期借入れによる収入	500,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△78,978	△137,660
配当金の支払額	△135,762	△135,725
非支配株主への配当金の支払額	△249,312	△270,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	424,126	75,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	131,341	163,555
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	80,990	354,585
現金及び現金同等物の期首残高	948,524	1,127,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,029,514	1,482,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年7月1日 至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	747,614	9,665,891	1,535,858	11,949,363	5,428	11,954,791	—	11,954,791
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	248,140	△287,842	166,321	126,619	36,600	163,219	△163,219	—
計	995,754	9,378,048	1,702,180	12,075,983	42,028	12,118,011	△163,219	11,954,791
セグメント利益	212,039	791,434	254,062	1,257,536	18,852	1,276,388	△463,598	812,789

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△463,598千円には、セグメント間取引消去△7,171千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△437,953千円、棚卸資産の調整額△16,916千円及びその他の影響額△1,558千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年7月1日 至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	800,367	9,100,697	1,550,170	11,451,235	5,397	11,456,632	—	11,456,632
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	266,944	△138,890	94,317	222,371	36,600	258,971	△258,971	—
計	1,067,311	8,961,807	1,644,488	11,673,607	41,997	11,715,604	△258,971	11,456,632
セグメント利益	193,808	932,527	219,737	1,346,074	19,413	1,365,488	△533,044	832,443

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△533,044千円には、セグメント間取引消去△26,900千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△516,018千円、棚卸資産の調整額16,681千円及びその他の影響額△6,807千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。